

(事業名) 堀川通 ごみ減量につながる住民への意識づけキャンペーン

(団体名) 堀川と堀川通りを美しくする会

平成27年度 助成金額 106,600円 主な実施場所 堀川と堀川通り・北区～下京区

事業目的・概要

堀川と堀川通りを美しくする会の年間事業のうち、「堀川桜まつり」、「京の七夕」「堀川一斉清掃の日」の中で、ごみ減量の啓発活動を行い、住民への意識付けを行うことを目的にキャンペーンを行った。「堀川桜まつり」では、リユース食器の利用を進め、来場者にごみ減量の大切さを訴えた。また奇数月に開催する「堀川一斉清掃の日」の呼びかけちらしでも、ごみ減量について訴えた。

第7回 堀川桜まつり 2015年 4月5日(sun) 10:00-15:30

堀川と堀川通りを美しくする会 30周年 | 10:00-オープニングセレモニー (演奏：京都市消防音楽隊) | 10:30-15:30 模擬店オープン・各種イベント

主催：堀川と堀川通りを美しくする会 共催：京都堀川ライオンズクラブ
後援：京都市、京都市教育委員会、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都
会場：二条橋河床

会場案内図

中立法橋 WC 下立売橋 丸太町橋 堀川橋 駐輪場 模擬店 二条橋 座席(お茶席) ステーション チンチン電車 押小路橋

ほかに、堀川と堀川通りを美しくする会では、京都市内のごみ減量推進の協力とごみ発生抑制へ向けての取り組みや事業(桜まつり)での再使用リユース食器の使用を行っております。

取組内容

●「堀川桜まつり」でのリユース食器の使用と啓発

4月5日に開催された堀川桜まつりにおいて、リユース食器の使用と返却のための意識づけ、啓発を行った。

一昨年度から、飲食提供を行う模擬店の一部において、リユース食器を利用している。ただしリユース食器であることの理解、周知が徹底せず、紛失率が10%程度あった。このため、看板やポスター等を作成、掲示し、返却を行った。また、本会関係自治会などの協力を得て、ポスター1,500枚、チラシ3,000枚を掲示および配布したが、このなかでごみ減量に関する啓発も行った。

●京の七夕における啓発

8月1日(土)から8月10日(月)にかけて開催された京の七夕において、来場者へのごみ分別やリサイクルについて、より意識を持ってもらうための啓発活動を行った。

●「一斉清掃の日」での取組

毎年奇数月の第3日曜日(5月17日(日)、7月19日(日)、9月20日(日)、11月15日(日)、1月17日(日)、3月20日(日)の6回)に堀川沿いの23学区と商店街、事業者等の協力により実施している「一斉清掃の日」の呼びかけの際に、参加者に向けて、マイボトルの持参を呼びかけ、また回収後のごみの分別・リサイクルを実施した。

成果

●堀川桜まつりでのリユース食器紛失率と、処分ごみの減少

堀川桜まつりにおいて、昨年度(平成26年度)は、リユース食器の紛失率が10%程度あったが、今年度は5%程度に減少した。リユース食器の使用に取り組み3年目になるが、確実に認識や理解が高まっていると言える。また、マイボトル持参者も目立つようになってきた。

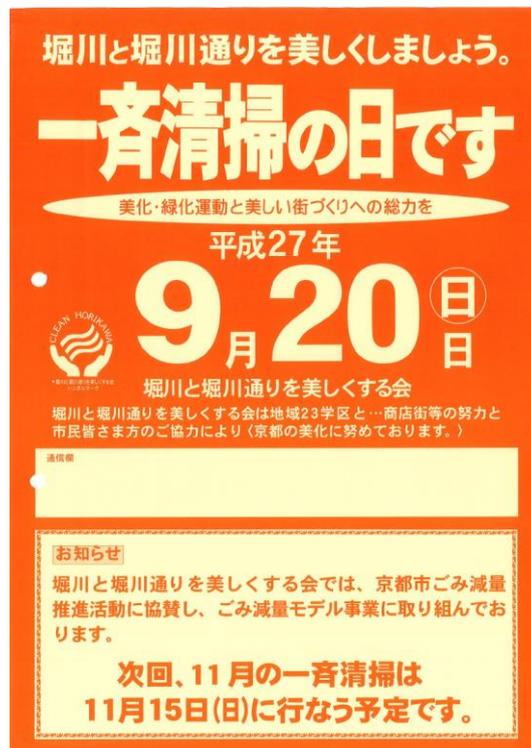
また、今年度(平成27年度)より、ごみの分別、リサイクルを徹底するようになり、無分別で業者回収を依頼していた前年度と比べ、ごみとして処分した量が、半分以下になった。前年度は2トントラック2台分だったのが、今年度は2トントラックで1台分に満たなかった。

●京の七夕でもリユース食器導入を検討

堀川桜まつりの成果を受け、京の七夕においても、翌年度(平成28年度)から、飲食を行う模擬店においてリユース食器を採り入れようとの機運が高まっている。

●堀川一斉清掃活動でのごみ分別指導係の設置

堀川一斉清掃活動には、各学区や関係団体から約2,000人が参加して行われている。これまでは、回収したごみの分別を参加者に指導する係は置かれていなかったが、今年度(平成27年度)から、上流の団体から2名、下流の団体から2名。計4名任命され、ごみ種ごとの分別を指導した。



堀川と堀川通りを美しくする会

【代表者】 会長 吉川哲雄

【主な活動地域】 堀川と堀川通り・北区～下京区

【設立の目的】

堀川と堀川通りを美しくする会は、地域住民が主体となり昭和60年4月に発足以来、堀川及び堀川周辺の美化活動及び河川環境向上のための啓蒙活動を四半世紀以上の多年にわたり継続的に実施している。

【主な活動内容】

- 結成以来30年間、年6回の堀川の清掃活動の他、堀川の流れをよみがえらせるために尽力。平成20年堀川環境整備事業による堀川河川に水の流れがよみがえった。
- 毎年4月に堀川桜まつりを開催、また、8月の京の七夕にも協力し、活動している。